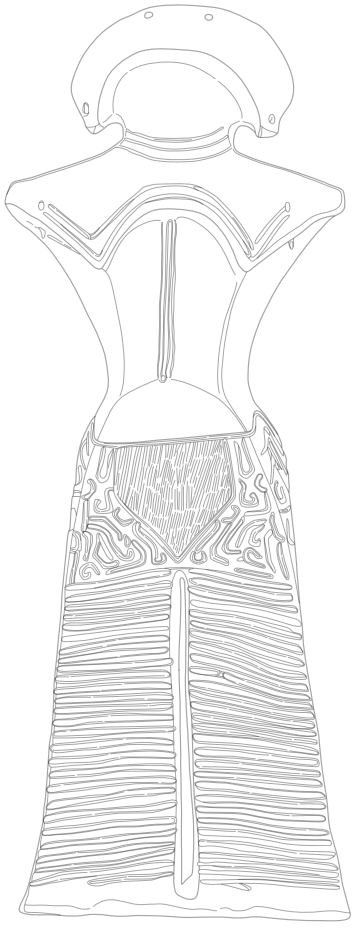
ISSN1341-397X

年　　報

令和７年度

令和８年５月

公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター



序

山形県埋蔵文化財センターは、平成５年に財団法人として創設以来、また平成 24 年からは公益財団法人として、関係諸機関のご支援・ご協力をいただきながら取組みを進めてまいりました。

本年度における当センターの事業につきましては、計画した事業の全てについて円滑に実施することができました。その概要について申し上げますと、調査事業においては、国・県などから委託を受け 11 件・13 遺跡の現地調査や整理作業を実施し、５件の発掘調査報告書を刊行いたしました。本県における発掘調査は、県内の高速交通網整備に伴う事業もピークを過ぎた一方、近年多発する自然災害の対策に伴う事業が増加傾向にあります。これから県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。今後とも、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

普及啓発事業につきましては、山形県の委託を受け、『出前授業』や『市町村巡回展示』『発掘作業体験』『遺跡体感ツーリズム』などの事業を実施し、多くの県民からご参加をいただきました。また、SNS やホームページによる情報発信、発掘調査遺跡の調査成果一般公開などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆様にお知らせしてまいりました。今後とも埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供するという基本姿勢を以て、普及啓発事業を推進してまいります。

山形県埋蔵文化財センターでは、これからも「公益」という言葉の重みを職員一人ひとりが胸に刻み、次世代を担う子供達に地域の歴史を知る大切さを伝え、誇りと自信の持てる地域づくりの一助とするため、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えていけるよう、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

令和８年３月 31 日

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
理事長　　黒 田 あゆ美

目　次

Ⅰ．管理運営概要
１．沿　革…… 1
２．組　織
（１）役員及び評議員 …… 1
（２）職制及び人員 …… 2
（３）組　織 …… 2
（４）職　員 …… 3
３．施　設…… 4
Ⅱ．業務概要
１．調査業務…… 5
（１）調査遺跡一覧 …… 6
（２）調査遺跡の概要
百目木遺跡 …… 8
東原遺跡 …… 10
馬神昭和新田遺跡 …… 14
飯田館跡 …… 16
中野目Ⅱ遺跡 …… 18
原の内Ａ遺跡第４次・鶴子中原遺跡 …… 19
西田１遺跡・西田２遺跡 …… 20
山形城三の丸跡第 22 ～ 24 次 …… 21
若木館跡 …… 22
中洗２遺跡 …… 23
新庄城二の丸跡 …… 24
２．普及啓発・研究等業
（１）受託事業
①出前授業…… 25
②発掘調査速報会…… 25
③遺跡・史跡パンフレット…… 26
④市町村巡回展示会…… 26
⑤体験学習会…… 26
⑥遺跡体感ツーリズム…… 27
⑦ SNS 情報 …… 27
⑧出土品貸出等…… 27
（２）その他
①調査説明会・調査成果一般公開…… 29
②来所者…… 29
③職員派遣等…… 30
④出版物…… 32
⑤ホームページ…… 32
（３）研修等 …… 33
（４）情報処理 …… 34

Ⅰ　管理運営概要

1．沿　革

山形県には、土地に埋蔵された埋蔵文化財や史跡、有形文化財、民俗文化財などが数多く残されています。これらの文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、そして今日まで守り伝えられてきた貴重な県民の文化遺産であり、これを保護・活用し、次世代に確実に継承していくことが大事です。

山形県埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の保護と県土の開発を両立させて調和を図るため、平成５年４月に山形県の出資によって「財団法人」として設立され、平成 24 年度には「公益財団法人」に移行しました。当センターでは、埋蔵文化財の調査研究を通じて、県民の文化生活の向上と地域文化の振興に寄与することを目的として、

１．遺跡等埋蔵文化財の調査及び研究
２．埋蔵文化財の活用及び保護思想の普及
３．その他この法人の目的を達成するために必要な事業

の三つを基本とした各種事業を推進しております。

令和４年３月に『山形県文化財活用大綱』が策定され、その中で当センターは推進体制の関係団体となっています。センターは、埋蔵文化財保護と活用の役割を担い、山形県と連携し進める必要があります。

当センターでは山形県からの委託を受け、埋蔵文化財の教育的価値を認識してもらう視点に立って、「出前授業」、「市町村巡回展示」、「発掘調査速報会」、「ホームページとＳＮＳによる情報発信」、「体験学習会」、「遺跡体感ツーリズム」の実施などの普及啓発活動にも力を注いでおります。

2．組　織

２．組　織

（１）役員及び評議員

役　員

理事長	黒田あゆ美	山形県観光文化スポーツ部長
専務理事	菅原靖男	財団常勤役員
理　事	石川由美	やまがたハッピーサポートセンター所長
理　事	大友幸子	山形大学名誉教授
理　事	杉澤栄一	公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事
理　事	中村雪子	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課長
監　事	永沢康弘	山形県観光文化スポーツ部観光交流拡大課長
監　事	梛野哲郎	元梛野哲郎税理士事務所所長

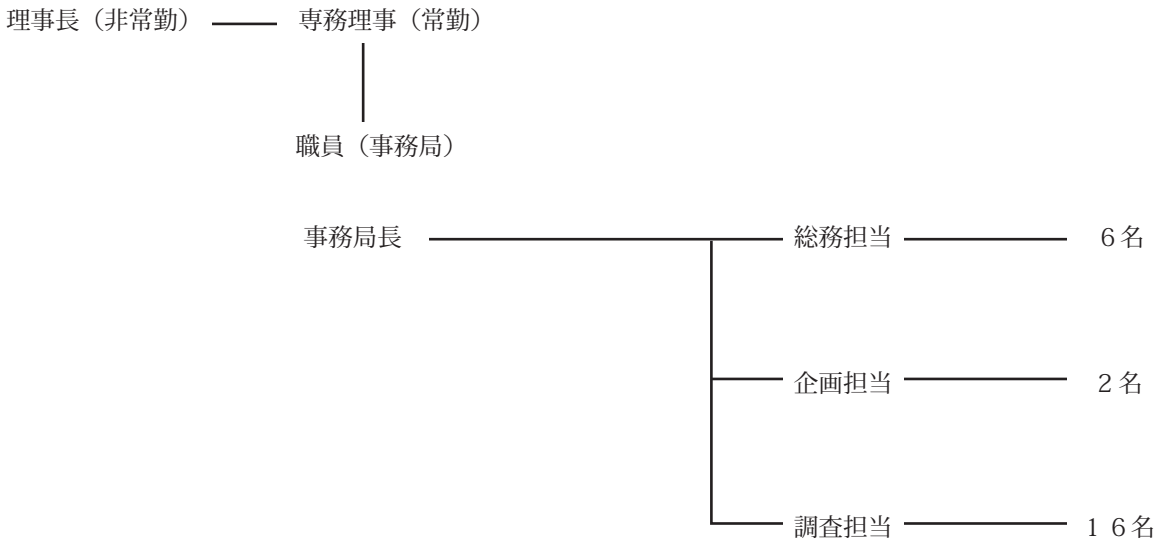
評議員	阿部明彦	山形考古学会会長
評議員	遠藤友紀	米沢市上杉博物館主任学芸員
評議員	大類　誠	尾花沢市文化財保護審議員
評議員	髙橋和明	山形県県土整備部道路整備課長
評議員	長岡禎智	山形県農林水産部農村整備課長
評議員	本間　豊	公益財団法人致道博物館学芸調査役
評議員	三澤裕之	秀明大学教育研究所教授
評議員	矢野純嗣	山形県立博物館副館長（兼）学芸課長

（２）職制及び人員

事務局長	１名
総務専門員	１名（調査研究専門員兼務）
調整専門員	１名（調査研究専門員兼務）
調査研究専門員	５名（内兼務２名）
専門調査研究員	３名
主任調査研究員	１名
調査研究員	２名
主任主査	３名
事務主査	１名
企画主任	１名
事務員	５名
調査員	３名
計	２５名

（３）組織

役員（理事会）



（4）職　員

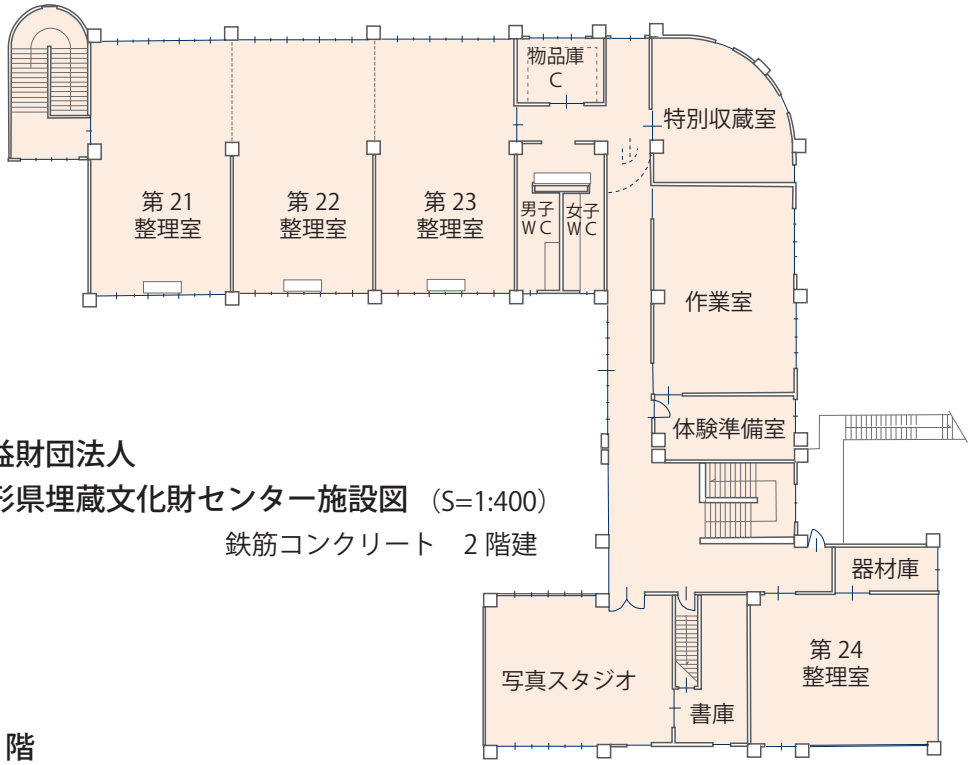
	職名	氏名		
	事務局長	髙桑弘美	一般職員	
総務担当	総務専門員	植松暁彦	一般職員	調査研究専門員兼務
	事務主任	石澤治雄	任期付職員	
	事務員	梅津里枝	任期付職員（令和８年２月退職）	
	事務員	柳原　恵	任期付職員	
	事務員	後藤枝里子	任期付職員	
	事務員	濵田くみ子	任期付職員（令和８年２月採用）	
企画担当	企画主任	須賀井新人	任期付職員	
	事務員	熊谷夏恋	任期付職員（令和７年７月退職）	
調査担当	調整専門員	髙桑　登	一般職員	調査研究専門員兼務
	調査研究専門員	齋藤　健	一般職員	
	調査研究専門員	菅原哲文	一般職員	
	調査研究研究員	水戸部秀樹	一般職員	
	専門調査研究員	大場正善	一般職員	
	専門調査研究員	草野潤平	一般職員	
	専門調査研究員	天本昌希	一般職員	
	主任調査研究員	渡辺和行	一般職員	
	調査研究員	三浦一樹	一般職員	
	調査研究員	結城　駿	一般職員	
	主任主査	齊藤主税	一般職員	
	主任主査	氏家信行	一般職員	
	主任主査	小林圭一	一般職員	
	調査員	志鎌久悦	任期付職員	
	調査員	大村暖奈	任期付職員	
	調査員	小幡桃花	任期付職員	

3．施　設

公益財団法人山形県埋蔵文化財センターは、平成 24 年 11 月末まで、山形県上山市弁天二丁目 15 番 1 号にて業務を行ってきましたが、施設の老朽化と防災上の問題のため、同年 12 月 1 日より、山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地に移転しました。

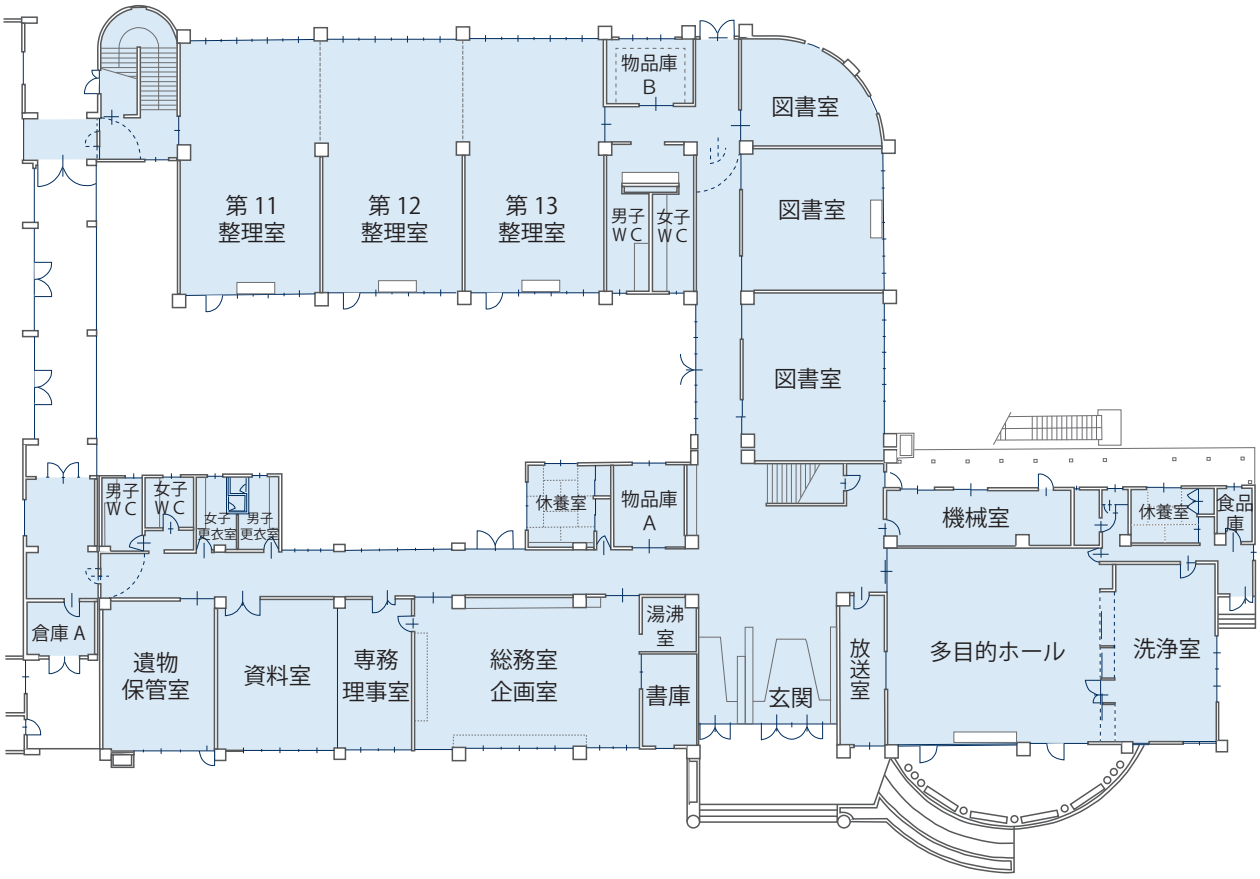
現在、当センターの施設は、以下のとおりになります。

2 階



公益財団法人
山形県埋蔵文化財センター施設図（S=1:400）
鉄筋コンクリート　2 階建

1 階



Ⅱ　事業概要

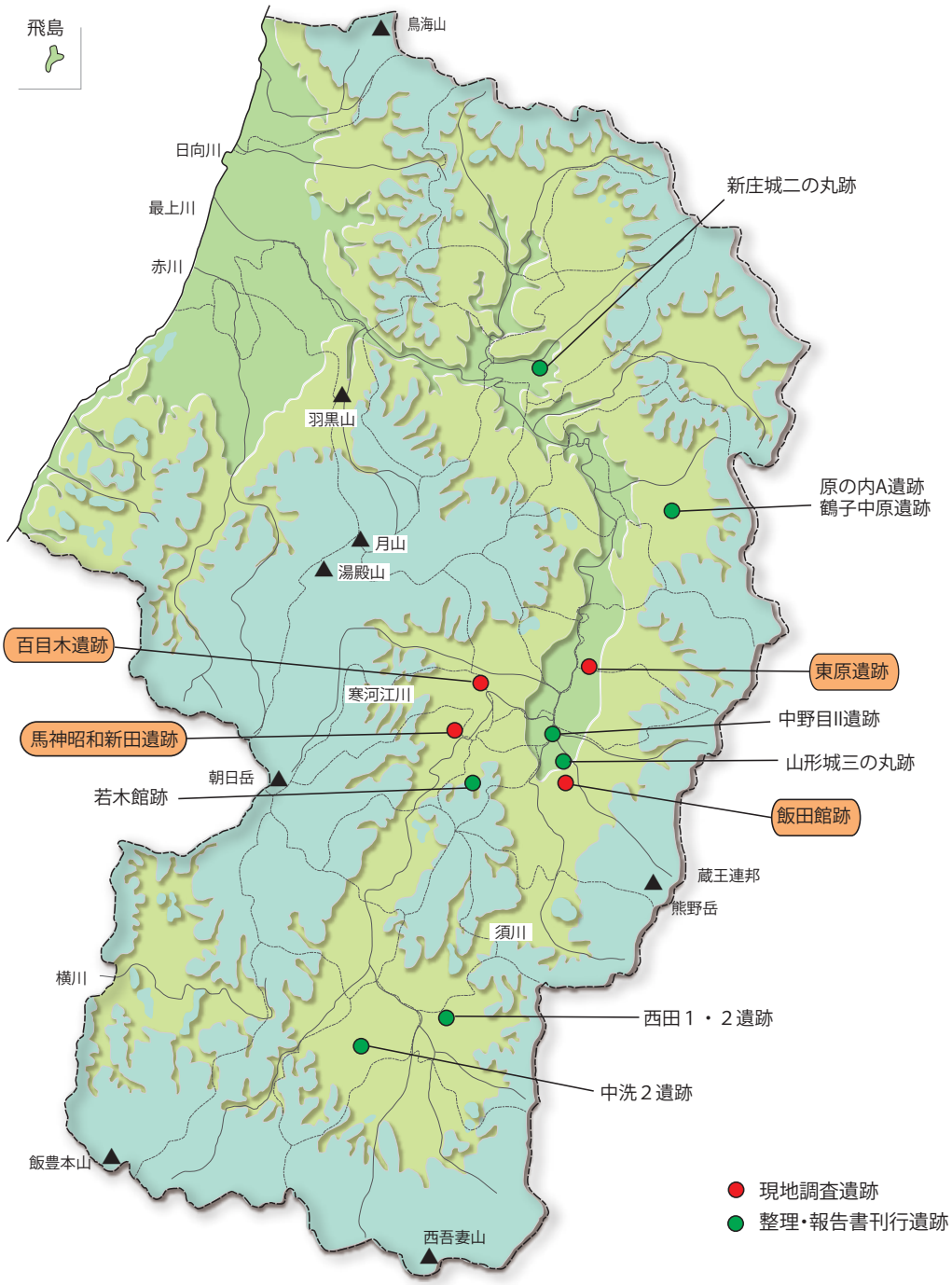
1．調査業務

令和７年度は、国土交通省および山形県、新庄市から委託を受け、道路建設、農地整備事業等に先だっての現地調査と整理作業、報告書刊行を実施しました。

発掘調査は４遺跡について行い、総面積は 5,308.4㎡になります。出土品は、土器等 136 箱が出土文化財の認定を受けました。

報告書作成のための整理作業は延べ９遺跡について実施し、その内７遺跡６冊の発掘調査報告書を刊行しました

令和７年度　発掘調査遺跡



※本書中の「調査遺跡の概要」の記述内容は概要の報告であり、発掘調査報告書の刊行をもって本報告となります。

（1）調査遺跡一覧

No.	遺跡名	所在地	主な時代	遺跡の種類	調査期間
1	百目木（どめき）遺跡	大江町	近世、近現代	その他（窯跡）	11 月 17 日～ 2 月 26 日
2	東原（ひがしはら）遺跡	東根市	平安	集落跡	5 月 12 日～ 10 月 31 日
3	馬神昭和新田（うまがみしょうわしんでん）遺跡	朝日町	縄文	集落跡	5 月 8 日～ 8 月 11 日
4	飯田館（いいだたて）跡	山形市	中世	城館跡	7 月 8 日～ 11 月 14 日
5	中野目（なかのめ）II 遺跡	山形市	古墳、奈良・平安	集落跡	
6	原の内（はらのうち）A 遺跡（第 4 次）・鶴子中原（つるこなかはら）遺跡	尾花沢市	縄文	集落跡	
7	西田（にしだ）1 遺跡・西田（にしだ）2 遺跡	高畠町	古墳、奈良・平安 中世	集落跡	
8	山形城三の丸跡（やまがたじょうさんのまる）第 22 ～ 24 次	山形市	奈良・平安、近世	集落跡 城館跡	
9	若木館（わかぎたて）跡	山形市	中世	城館跡	
10	中洗（なかあらい）2 遺跡	川西町	古墳	城館跡	
11	新庄城二の丸（しんじょうじょうにのまる）跡	新庄市	近世	城館跡	

調査面積：平方m	文化財認定箱数：箱	起因事業〈委託者〉	業務内容			調査経費：円
			現地調査	整理作業	報告書刊行	
700	—	最上川上流大規模災害関連事業 左沢築堤 〈国土交通省〉	○	○	—	20,464,400
2,810	120	道路改築事業 主要地方道山形天童線（成生工区） 〈村山総合支庁建設部〉	○	○	—	82,137,000
730	13	主要地方道長井大江線（大谷工区） 〈村山総合支庁建設部〉	○	○	—	54,299,300
1,068.4	3	飯田土砂災害対策事業（防災安全・ 急傾斜地） 〈村山総合支庁建設部〉	○	○	—	53,439,100
		最上川上流河川改修事業 （須川地区） 〈国土交通省〉	—	○	○	22,641,000
		農地整備事業（経営体育成型） 鶴子六沢地区 〈山形県観光文化スポーツ部〉	—	○	○	34,300,000
		農地整備事業（経営体育成型） 亀岡西地区 〈山形県観光文化スポーツ部〉	—	○	○	52,800,000
		山形広域都市計画道路３・２・５号 旅籠町八日町線 〈村山総合支庁建設部〉	—	○	—	19,371,000
		若木　土砂災害対策事業費 （砂防自然災害防止事業急傾斜） 〈村山総合支庁建設部〉	—	○	—	8,053,100
		道路改築事業 国道 287 号米沢川西バイパス 〈置賜総合支庁建設部〉	—	○	○	22,154,000
		新庄市公立保育所整備計画 〈新庄市〉	—	○	○	25,643,200
5,308.4	136					395,302,100

百目木遺跡

遺跡番号　324 - 059
調査次数　第 1 次
所在地　山形県西村山郡大江町左沢
北緯・東経　38 度 23 分 4.6 秒・140 度 12 分 51.9 秒
調査委託者　国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所工務第一課
起因事業　最上川大規模災害関連事業（左沢地区）
調査面積　700㎡
受託期間　令和 7 年 11 月 4 日～令和 8 年 3 月 31 日
現地調査　令和 7 年 11 月 17 日～令和 8 年 2 月 26 日
調査担当者　水戸部秀樹（現場責任者）・大場正善・草野潤平・三浦一樹・結城駿
調査協力　大江町教育委員会
遺跡種別　その他（築跡）
時代　近世・近現代
遺構　築場・建物・舟道等

調査の概要

最上川の増水による洪水被害の対策として、百目木地区の最上川左岸に堤防が整備されることになった。その堤防の設置場所に百目木遺跡が存在することから、発掘調査の実施が必要と判断された。発掘調査と堤防設置工事に際しては、安全確保のため仮締切（図 3）が必要である。令和 7 年度は仮締切に係わる部分の調査となった。

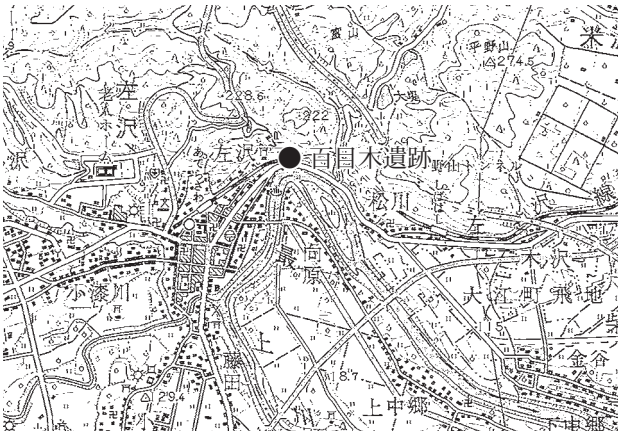
工事では、最上川の左岸に堆積した土砂の一部を取り除くことが予定されていた。遺跡内での土砂掘削であり、何らかの遺構や遺物が認められた場合には記録の作成を行うこととした。また、鋼矢板を打ち込む場所も遺跡内であることから、遺構に与えられる影響が最小限にとどめられているかどうかも確認する必要があった。

百目木遺跡について

近世から現代にかけての築場（図 1）や茶屋が設けられ、各種資料や写真、現地に残る柱穴などにその痕跡が残されている。茶屋には、明治 17 年に歌人である斎藤茂吉、昭和 21 年に高松宮宜仁親王殿下が立ち寄り、料理を楽しんだという記録もある。

舟道について

元禄 6 年（1693）から翌年にかけて、白鷹町荒砥から中山町長崎までの川筋の普請が、米沢藩御用商人である京都の西村久左衛門によって行われた。今回の事業に



遺跡位置図（S ＝ 1:50,000）

先立って行われた百目木付近の川底に対する音響測深調査のデータを分析したところ、普請によって開削されたと考えられる舟道の位置・形状が明らかになった（図 4）。

調査成果

最上川左岸に堆積した土砂を一部取り除いた後の土層を確認したところ、ほとんどが砂であり、河川によって運ばれたものと考えられる（図 2）。この砂層は、昭和 40 年代に整備された護岸コンクリート敷設工事後に堆積したものである。よって、砂層の除去が遺跡に与える影響はないことが確認された。

また、鋼矢板を打ち込む前にドリルで掘削しているが、最上川の川底は岩盤であり、やむを得ないことと判断される。遺跡が受けた影響は少なかったと考えられる。



写真 1　築場の柱痕（北から）



写真 2　最上川左岸に堆積した砂層（南西から）



写真 3　仮締切完了状況（南東から）

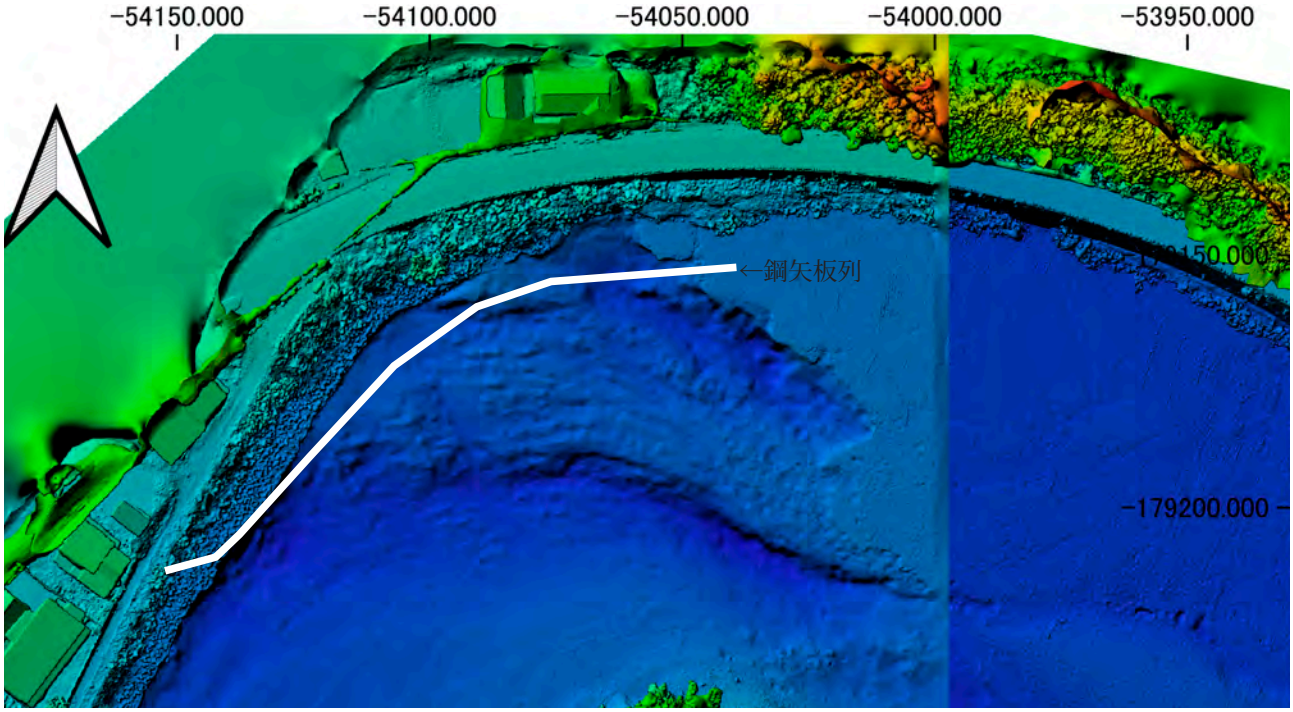


図 1　百目木遺跡の数値標高モデル（川底に舟道を確認）、縮尺 1 / 1500

東原遺跡

遺跡番号　211-089
調査次数　第１次
所在地　山形県東根市大字羽入字東原地内
北緯・東経　38 度 24 分 07 秒・140 度 21 分 38 秒
調査委託者　山形県村山総合支庁建設部北村山道路計画課
起因事業　道路改築事業 主要地方道山形天童線 成生工区
調査面積　2,810㎡
受託期間　令和７年４月１日～令和８年３月 31 日
現地調査　令和７年５月 12 日～ 10 月 31 日
調査担当者　草野潤平（現場責任者）・三浦一樹・結城駿・小幡桃花
調査協力　東根市教育委員会・東根市土地改良区
遺跡種別　集落跡
時代　平安時代
遺構　竪穴建物、土坑、柱穴、ピット、溝、炭・焼土を含む落ち込み
遺物　土師器、須恵器、土製品、石器、金属製品（文化財認定箱数：120 箱）



遺跡位置図（S ＝ 1:25,000）

調査の概要

東原遺跡は、令和６年６月に東根市教育委員会からの発見通知によって新規登録され、同月に行われた山形県観光文化スポーツ部による試掘調査結果を踏まえて遺跡の範囲が拡大修正された古代の集落跡である。山形空港にほど近い東根市南西端に位置する本遺跡は、1km ほど南を東西方向に流れる乱川右岸の扇状地面にあり、調査範囲を中心とする一帯がさくらんぼ等の果樹園や畑に利用されている（遺跡位置図・写真１参照）。

今回の調査は、乱川の南（天童市成生）まで完成している山形天童線を東根市羽入へ延伸する道路改築事業に伴うもので、大富中学校南西の道路交差点より南側の広い調査区を１区、北側の狭い調査区を２区と設定した（図２）。１区の場所はおおむね平坦だが広域的に見れば北東側と南東側がごく緩やかに高くなる地形で、乱川の河道跡を示す扇状地面上の浅い帯状凹地にあたる（図１）。

試掘調査の結果、現在の畑土である暗色の表土と明褐色の砂質シルト層（Ⅰ層）の下に奈良・平安時代の土器片を多く含む暗褐色土層（Ⅱ層）と黒褐色土層（Ⅲ層）が堆積し（写真 2）、遺跡範囲より南側ではこの遺物包含層が認められずⅠ層の下に河川堆積と考えられる砂礫層が確認された。遺跡の立地を踏まえると、Ⅲ層は草の生えた帯状凹地の古代の生活地面で形成された黒土層、Ⅱ層は周辺や凹地上流から雨水が流れ込んで形成された堆積層と把握できる。Ⅰ層の均質な明褐色砂質シルト層は乱川の氾濫洪水でいっきに流れてきた泥土または果樹園の造成盛土とも考えられる。

発掘調査では遺物包含層（Ⅱ・Ⅲ層）の上面まで重機掘削を行なった後、遺物の出土を確認しながら人力で掘り下げを進めた。遺物の出土量は当初の想定を大きく上回り、内寸 39 × 55 × 14cm の遺物収納コンテナ 120

箱分に及ぶ膨大な量の古代土器片が出土している。

遺構と遺物

多くの遺構は扇状地堆積層である地山層（Ⅴ層）より上の地山漸移層（Ⅳ層）上面で検出しているが、遺物包含層（Ⅱ・Ⅲ層）を掘り下げる過程で確認した遺構も存在する。

１区では、可能性があるものを含め 20 棟以上の竪穴建物や多数の土坑、柱穴、ピット、溝を検出したほか、炭・焼土を多く含む歪なかたちの落ち込みが至るところで見つかった。調査区全体に広がる遺物包含層はⅢ層よりもⅡ層の出土量が多く、土器を一括廃棄したような集中地点も見られる。

炭・焼土を含む落ち込みからは接合関係をもつ大きな破片の土師器が比較的まとまって出土する傾向があり、ひとつの落ち込みのなかに焼土の面的な広がりが複数箇所で確認された（写真 3）。落ち込みの中で複数回火を焚いた痕跡と考えられ、焚火行為と土器の廃棄（または意図的な埋置）を繰り返した状況が想定される。落ち込みの形状は不規則にゆがんだものが多いが、なかには埋まりかけた竪穴建物の上部で確認されたものや落ち込みの一部を人為的に掘り込んだ状況を示すものもあり、竪穴建物廃絶後の窪みなどを含む当時の生活面に存在した落ち込みを利用し、必要な場合に一部を掘り込んで拡張しているようである。土師器焼成遺構や何らかの祈願を行なう祭祀の場であった可能性などが考えられるが、今後の整理作業で出土土器の種類や破片の状態なども確認したうえで遺構の性格を検討する予定である。

１区の遺構精査は大部分が途中段階で、今年度掘り下げを行なったものは北端の竪穴建物・土坑・ピット（写真 4）など一部に限られる。北端の竪穴建物は上部が大きく削られ最下層の掘形埋土をわずかに残す程度の遺存状態だったが、その 40m ほど南で検出した竪穴建物は上部まで良好に残存し床面近くの覆土から大量の鉄滓や鞴の羽口片（写真 5）が出土した。鍛冶工房の可能性が高く、遺物包含層出土の鉄鏃（写真 6）なども東原遺跡で製作したものかもしれない。また中央部東壁沿いで検出した竪穴建物からは完形に近い 9 世紀後半の須恵器坏（写真 7）などが出土し、集落が営まれた時期の一端を示している。これらに加え特徴的な遺物として、古代では比較的珍しいミニチュア土器（高さ２～ 4cm 前後の埦形・鉢形）が複数出土しているほか、土製紡錘車や漁網用の管状土錘、土製円盤などが見つかっている。

２区では、調査区南端で竪穴建物の一部（写真 8）とピット３基が確認された。遺構の少なさに加え、遺物包含層も１区と比べて出土量が圧倒的に少なく北側へいくと認められなくなる状況で、遺跡の北限であることを反映していると理解できる。２区は検出遺構を完掘して調査区の埋め戻しまで完了した。

まとめ

東原遺跡の令和７年度発掘調査は、１区の遺物包含層掘り下げを中心に進め、大部分の遺構精査については令和８年度に実施予定である。したがって現時点では遺跡の詳細がまだ判然としていないが、今回の発掘調査成果として出土遺物のなかに８世紀後半を中心とする奈良時代の土器を含みつつ、遺跡の帰属時期は９世紀が主体を占めるものと把握された。当該期は東山道駅路が遺跡近くを通るようにルート変更された時期にあたり、豊富な遺物出土量から活発な生産・流通活動の展開をうかがわせる東原遺跡が、当地における古代社会の実相を明らかにするうえで重要な鍵を握っている。

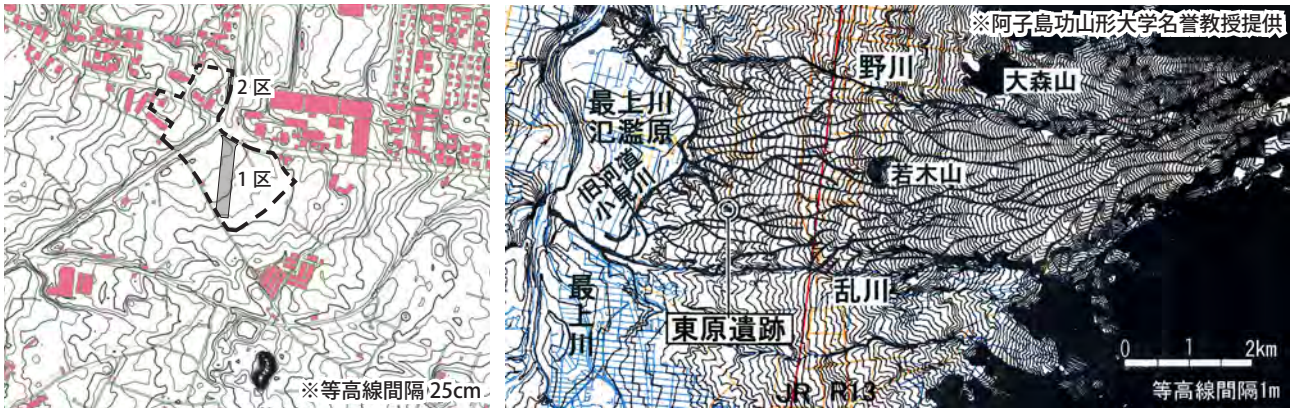


図１　遺跡周辺の地形と野川・乱川間の扇状地面上の河道跡凹地の分布（左：１万 2000 分の１／右：12 万分の 1）



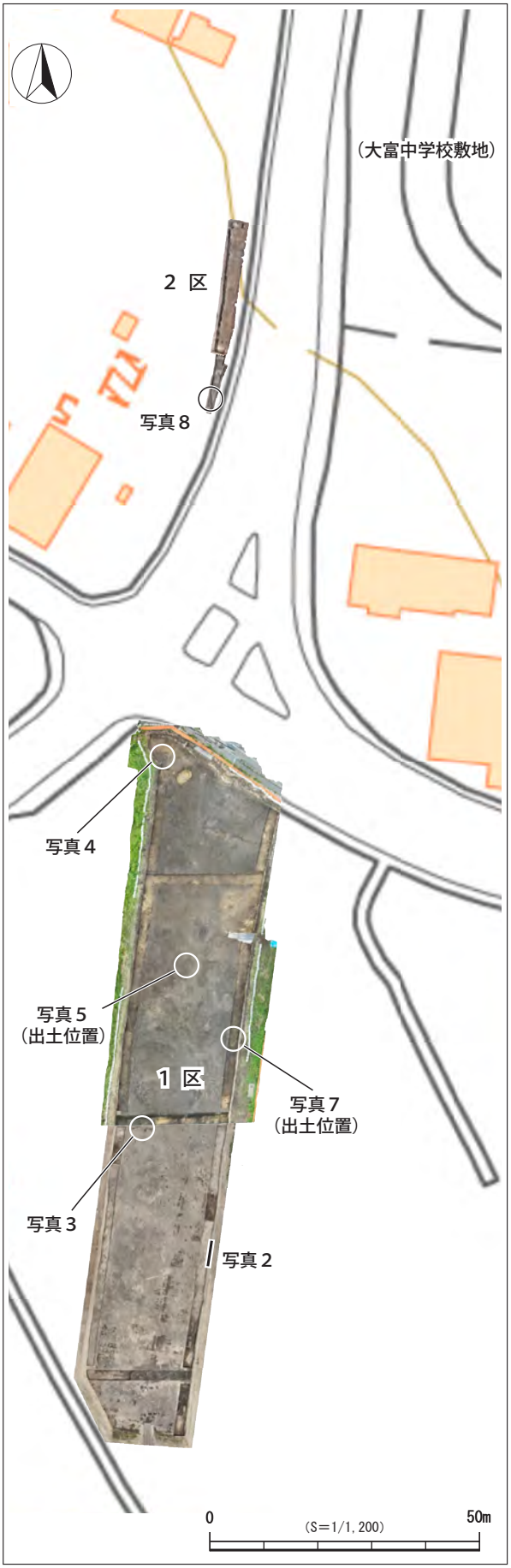


図２　１区・２区のオルソ画像（左）と調査区全体図（右）



写真１　東原遺跡調査区周囲の景観（南西から）

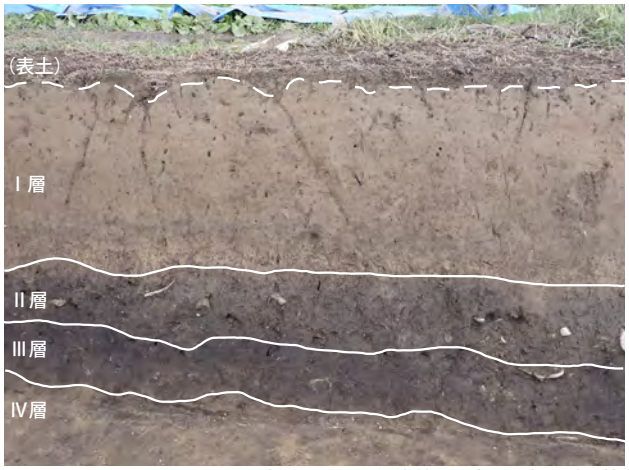


写真２　土層堆積状況（1 区南側東壁）



写真３　炭・焼土を含む落ち込み（1 区中央部西側）



写真４　1 区北端の竪穴建物・土坑・ピット（東から）



写真５　1 区北側の竪穴建物から出土した鍛冶関連遺物



写真６　1 区北側の遺物包含層（Ⅱ層）から出土した鉄鏃



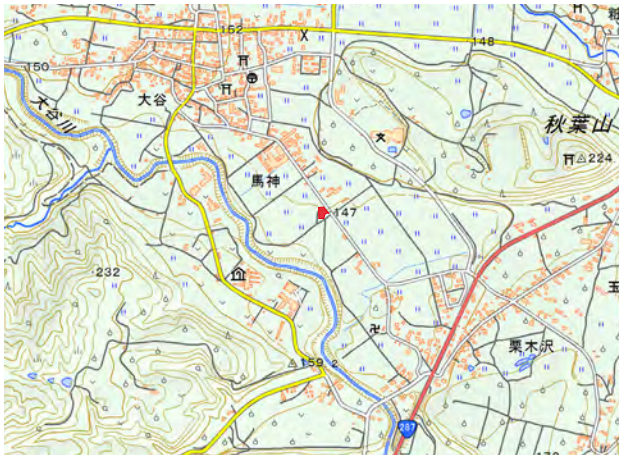
写真７　1 区中央部東側の竪穴建物から出土した須恵器坏



写真８　2 区南端の竪穴建物完掘状況（北西から）

馬神昭和新田遺跡

遺跡番号　323-053
調査次数　第１次
所　在　地　山形県西村山郡朝日町馬神地内
北緯・東経　38 度 20 分 27 秒・140 度 10 分 21 秒
調査委託者　山形県村山総合支庁建設部西村山道路計画課
起因事業　交通安全道路事業　主要地方道長井大江線　大谷工区
調査面積　730㎡
受託期間　令和７年４月１日～令和８年３月 31 日
現地調査　令和７年５月８日～８月 11 日
調査担当者　大場正善（現場責任者）・三浦一樹・大村暖奈
調査協力　朝日町教育委員会
遺跡種別　集落跡
時　　代　縄文時代
遺　　構　土坑・ピット
遺　　物　土偶・縄文土器・石器（文化財認定箱数：13 箱）



遺跡位置図（S ＝ 1:25,000）

調査の概要

今回の調査は、主要地方道長井大江線　大谷工区に伴った発掘になる。調査区は、試掘調査で遺物の出土が確認された範囲を行った。

調査は、遺物が出土する１万年以降に堆積したと考えられる、黒ボク土層（Ⅲ層）の上面まで重機で掘り下げたのち、黒ボク土層からⅣ～Ⅴ層上面まで、人力で遺物の出土を確認しながら掘り下げを実施した。出土した特徴的な遺物については、写真や出土位置の座標測量を行って記録した。

黒ボク土層の下のⅣ層上面では、縄文時代に相当する土坑３基、ピット 32 基、また調査区北半部からは谷状の窪地跡が検出された。検出された遺構は、丁寧に掘り下げ、写真撮影や三次元計測にｙｐる記録作業を実施した。

遺構と遺物

縄文時代に堆積した黒ボク土であるⅢ層からは、その上面において縄文時代晩期（約 2500 年前）に相当する深鉢形土器などが出土した。また、Ⅲ層の中位からは、縄文時代中期（約 4500 年前）に相当する浅鉢形土器や深鉢形土器、及び舟形町西ノ前遺跡で発見された国宝『縄文の女神』と類似した形状の土偶の破片が出土した。土偶の破片は、下腹部から背中の部分で、腹部に渦巻状の文様やへその孔が認められる。背中には、浅い縦の溝も作り出されていることが判明した。

このほか、珪質頁岩製の石匙や棒状のヘラ形石器、磨製石斧などの石器資料が出土した。石匙などの珪質頁岩製石器は大型品が多く、近隣の最上川や五百川渓谷といった珪質頁岩の原産地に近いことを考えると、石器の材料となる珪質頁岩が遺跡の近くで採取されたことを物語っている。



写真１　調査区全景（西から）

これらの遺物は、調査区の北半部を中心に出土していることが確認された。

遺構については、多くはないもの、複数の土坑やピットが検出された。土坑の SK2 では、土坑の埋土中に縄文土器とともに、石器を製作した際に生じる製作屑である、珪質頁岩製の剥片やチップが密集していた。

ピットについては、建物などの柱穴の可能性があるが、建物として組み合うものが確認できなかった。杭や柵などの可能性があるが、これらのピットの性格については、いまのところ不明と言わざるを得ない。

窪地跡は、調査地が耕作地になる前に大谷盆地内に残された旧地形の痕跡と言え、最上川が大谷地区内に流入し、水が引いた際に形成されたと考えられる。Ⅲ層よりも下位の層準で確認できることから、少なくとも縄文時代中期より以前に形成された地形と言える。窪地跡からは遺物が発見されなかったが、現在の地表面よりも地下に古い地形が残されていることが判明した。

なお、調査区の北側は、近年に掘られた大きな穴（カクラン）や木が倒れた倒木痕が数か所認められた。



図１　調査区のオルソ画像（縮尺：1/800）

まとめ

今回の調査では、遺物包含層であるⅢ層の黒ボク土層から、縄文時代晩期と中期の遺物が多数出土することを確認した。とくに、縄文時代中期に相当する舟形町の国宝土偶と類似する土偶の発見は、町内初の発見となる（町内の上郷松原地区のヒデリ田遺跡で、縄文時代中期とされる板状土偶が 1 点発見されている）。また、大型の石器については、材料となる珪質頁岩が豊富に採取できる地域の特色を示していると思われる。

遺構については、数が少ないが、この地での過去の生活の様子を垣間見ることができた。遺物が調査区の北半部に多く出土することから、遺跡の中心部が今回の調査区よりも北方に存在している可能性がある。

今後、今回の調査区より北側を調査することによって、縄文時代以降、大谷の集落で生活していたヒトびとの暮らしが、さらに明らかになっていくことが予想される。



写真２　出土した縄文時代中期の土偶



写真３　縄文土器（晩期）状況（北西から）

飯田館跡

遺跡番号　201-307
調査次数　第1次
所在地　山形県山形市飯田
北緯・東経　38度12分46秒・140度19分39秒
調査委託者　山形県村山総合支庁建設部河川砂防課
起因事業　飯田土砂災害対策事業（防災安全・急傾斜地）
調査面積　1,068.4㎡
受託期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日
現地調査　令和7年7月8日～11月14日
調査担当者　渡辺和行（現場責任者）・志鎌久悦
調査協力　山形市文化創造都市課文化財係
遺跡種別　城館跡
時代　中世
遺構　溝・柱穴・ピット・整地層
遺物　須恵器・陶器・磁器・瓦（黒瓦）・砥石・古銭　（文化財認定箱数：3箱）



遺跡位置図（S＝1:50,000）

調査の概要

今回の調査は、飯田土砂災害対策事業に伴うものである。今年度の調査対象となる範囲は館跡南側の斜面地と工事用道路建設に伴い掘削される東側の平坦地である。

斜面地の調査は安全面を考慮し、トレンチでの調査を行った。但し、窪地や平坦面については、広めに調査範囲を設定し、1から3区と分けて調査を行っている。

東側の平坦地は工事によって掘削される範囲の調査を行った。地形により2か所に分かれることから4区・5区と設定し、調査を行った。

遺跡の概要

飯田館跡は築城者は飯田播磨守（いいだはりまのかみ）とされている。飯田播磨守が最上義光（もがみよしあき）に仕えたと考えられる年代が1,584年頃と考えられる。そのため、早くて1,584年が築城時期と推定できる。飯田播磨守は1,600年の慶長出羽合戦において現山辺町の畑谷城を救援に向い、討ち死にをしている。播磨守の死は史料にも記載され、どの軍記物にも討ち死にの記述がなされている。このことから、飯田館跡に飯田播磨守が居住していたとすれば長くて1,584年から1,600年までの16年間となる。

その後の飯田館跡の処遇については史料に記載はない。こちらも推定になるが最上氏が改易される1,622年ごろには他の城と同様に廃城になったと考えられよう。その場合、築城から廃城まで長く見積もっても38年間の短い存続期間だといえる。

遺構と遺物

今回の調査で明確な遺構が検出されたのは5区のみであり、その他の地点では見つかっていない。5区で確認した遺構は、柱穴と土坑である。いずれも岩盤を削り、穴を掘ったことが確認できる。土坑からは遺物も出土している。内容は近世の磁器と砥石で砥石は複数点出土し

ている。斜面地や平坦地では造成土も確認されている。目的としては平らな面を作ることにあったとみられ、造成土の中から出土した遺物から現在の地形に近い状態になったのは 18 世紀頃と推定できる。

注目される遺物は近世前半に使用されていたと考えられる黒瓦が出土したことである。これらは造成土等から出土している。黒瓦は、山形市内で山形城の遺跡範囲でのみ出土しているもので、その他では飯田館跡以外確認できていない。近世前半の時点では限られた建物にのみ使用可能とされるものである。

まとめ

3 点ほど判明したことを記載しまとめとする。

1 点目、調査区域内の現在の地形は 18 世紀ごろに作られたとみられること。2 点目は瓦葺きの建物が近世前半において館跡内に存在していた可能性が出てきたこと。3 点目は南側斜面地には山城に見られるような防御施設がなかったことがあげられる。先にあげた 3 点はいずれも近世での出来事である。たが、造成土内から採取した炭化物の年代測定では中世を示すものもあり、人々の生活という点では中世の段階で何らかの活動を行っていた可能性がある。次年度の調査においてこれらの解決および補完するような成果を期待したい。



写真 1　調査区全景（東から）



写真 2　出土遺物（陶磁器）



写真 3　出土遺物（瓦）

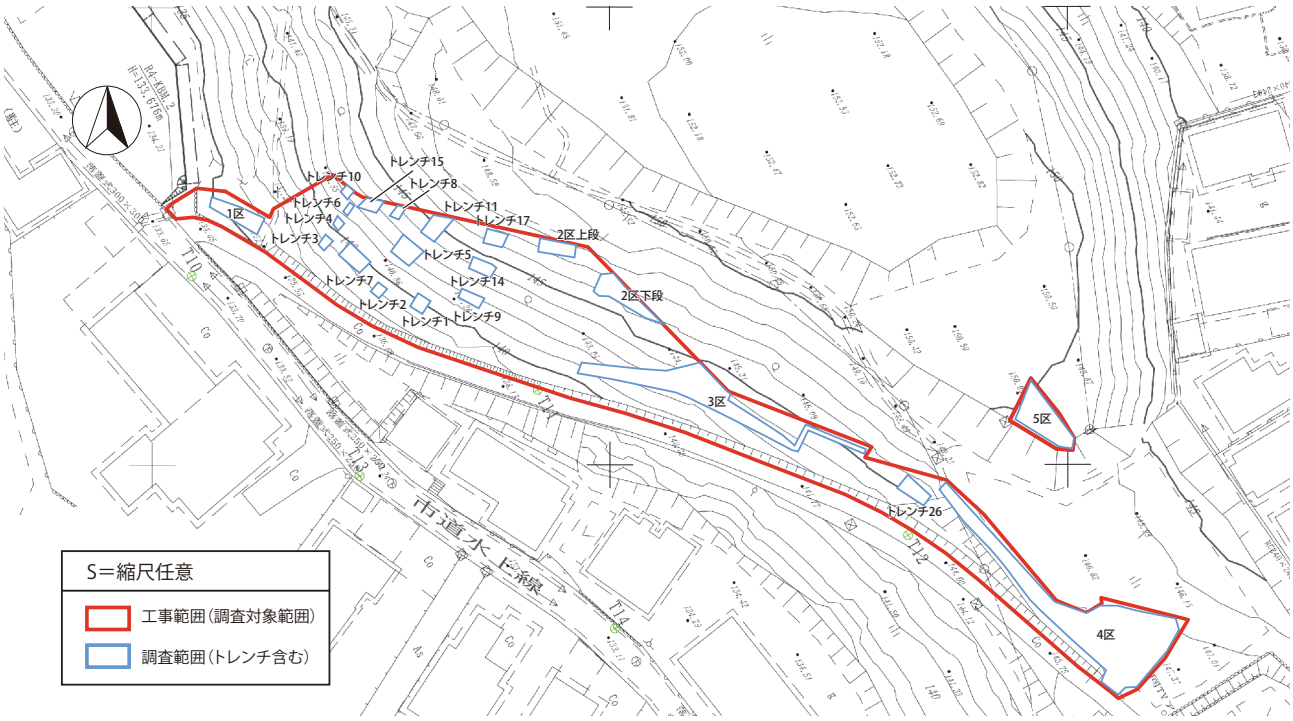


図 1　調査区全体図　縮尺任意

中野目Ⅱ遺跡

遺跡番号　201-135
所在地　山形県山形市大字中野
調査委託者　国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所
工務第一課
起因事業　最上川上流河川改修事業（須川地区）
受託期間　令和７年４月１日～令和８年３月31日

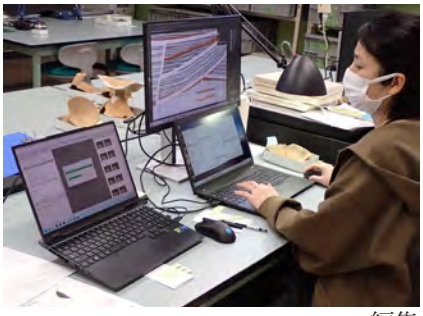
現地調査　平成30年５月21日～11月５日
調査担当者　天本昌希
遺跡種別　集落跡
時代　古墳時代・奈良・平安時代・中世

作業工程表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業項目	記録類整理	完了											
	遺物洗浄	完了											
	実測	完了											
	接合・復元												
	実測	完了											
	トレース												
	写真撮影												
	編集・レイアウト												
	原稿執筆												
	校正												
	遺物・記録類収納												


接合


トレース


トレース


編集


編集


写真撮影


校正


収納

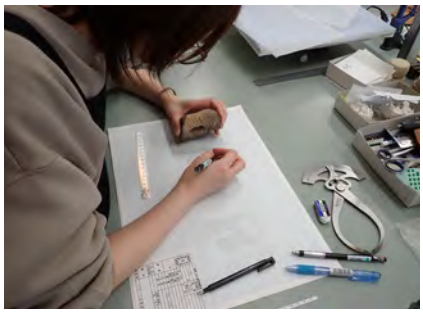

検品

原の内 A 遺跡第 4 次・鶴子中原遺跡

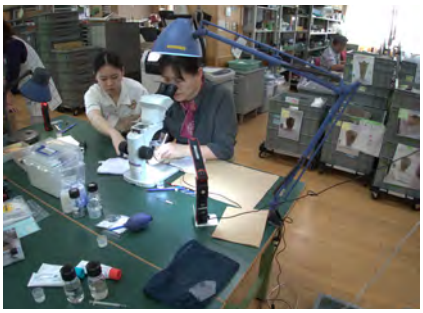
遺跡番号　212-024（鶴子中原）・212-029（原の内 A）
所在地　山形県尾花沢市鶴子字原の内
調査委託者　山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課
起因事業　農地整備事業（経営体育成型）鶴子六沢地区
受託期間　令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
現地調査　令和 4 年 10 月 3 日～ 11 月 30 日（原の内 A）

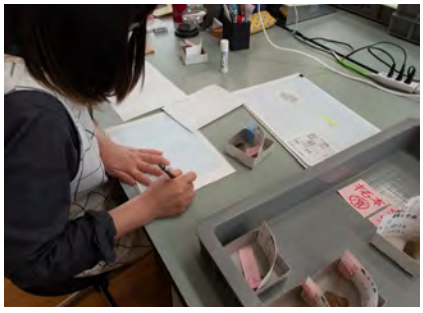
現地調査　令和 5 年 10 月 3 日～ 11 月 21 日（鶴子中原）
調査担当者　植松暁彦・氏家信行
遺跡種別　集落跡
時代　縄文時代・弥生時代・近世

作業工程表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業項目	記録類整理												完了
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元	完了											
	実測					完了							
	拓本					完了							
	トレース												完了
	写真撮影				完了								
	編集・レイアウト												完了
	原稿執筆												完了
	遺物・記録類収納												完了
	印刷・製本												完了


原の内 A：実測


原の内 A：写真撮影


原の内 A：種実分析


鶴子中原：拓本


鶴子中原：トレース


鶴子中原：遺物図版編集


原の内 A：遺構図版編集


原の内 A：拓本収納



原の内 A・鶴子中原：報告書刊行

西田１遺跡・西田２遺跡

遺跡番号　381-385（西田１）・381-386（西田２）
所在地　山形県東置賜郡高畠町大字船橋字西田
調査委託者　山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課
　　山形県置賜総合支庁産業経済部農村整備課
起因事業　農地整備事業（経営体育成型）亀岡西地区
受託期間　令和７年５月１日～令和８年３月31日

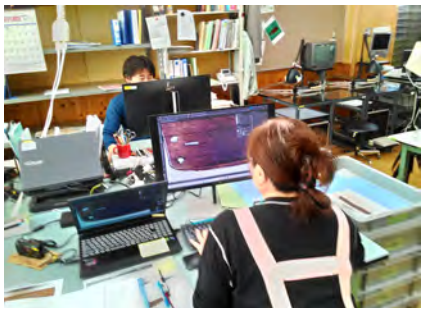
現地調査　令和６年６月４日～12月27日
調査担当者　氏家信行・植松暁彦・齋藤健
　　水戸部秀樹・齊藤主税・小林圭一
遺跡種別　集落跡
時代　古墳時代・奈良・平安時代・中世

作業工程表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業項目	記録類整理	完了											
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元					完了							
	実測											完了	
	拓本								完了				
	トレース											完了	
	写真撮影										完了		
	編集・レイアウト											完了	
	原稿執筆												
	遺物・記録類収納												完了
	印刷・製本												完了


接合


実測


拓本


遺物のトレース


遺構のトレース


写真撮影


原稿執筆


遺物の収納



印刷・製本

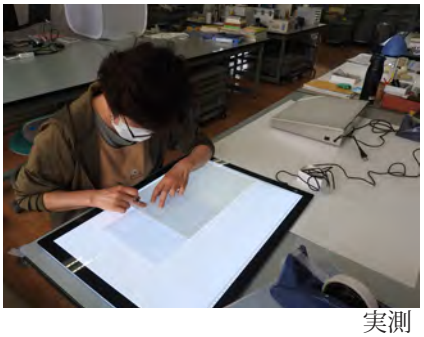
山形城三の丸跡（第 22 ～ 24 次）

遺跡番号　201-003
所在地　山形県山形市本町 1 丁目外
調査委託者　山形県村山総合支庁建設部都市計画課
起因事業　山形広域都市計画道路事業
　　3・2・5 号旅籠町八日町線
受託期間　令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

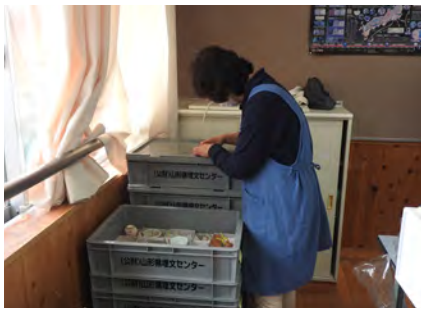
現地調査　令和 3 年 6 月 21 日～ 10 月 28 日
　　令和 4 年 6 月 6 日～ 11 月 25 日
　　令和 5 年 6 月 6 日～ 10 月 6 日
調査担当者　齊藤主税・小林圭一
遺跡種別　集落跡・城館跡
時代　奈良時代・平安時代・中世・近世

作業工程表		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
作業項目	記録類整理	完了											
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元	完了											
	実測												
	拓本												
	トレース												
	写真撮影												
	編集・レイアウト												
	原稿執筆												
	遺物・記録類収納												
	印刷・製本												


実測


実測


実測


拓本準備


拓本準備

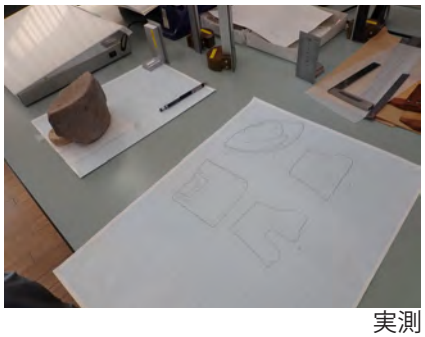

拓本

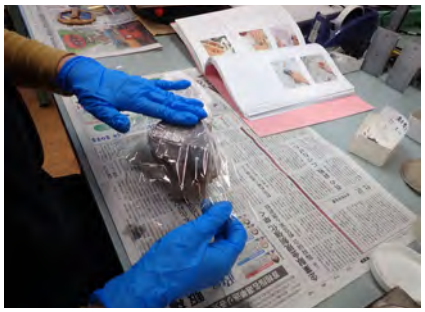
若木館跡

遺跡番号　201-232
所在地　山形県山形市大字若木字立山
調査委託者　山形県村山総合支庁建設部河川砂防課
起因事業　若木　土砂災害対策事業費
（砂防自然災害防止事業・急傾斜）
受託期間　令和７年４月１日～令和８年３月31日

現地調査　令和６年６月11日～10月11日
調査担当者　渡辺和行
遺跡種別　城館跡
時代　中世

作業工程表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業項目	記録類整理									完了			
	遺物洗浄	完了											
	注記	完了											
	接合・復元	完了											
	実測											完了	
	拓本											完了	
	トレース												
	写真撮影												
	編集・レイアウト												
	原稿執筆												
	遺物・記録類収納												
	印刷・製本												

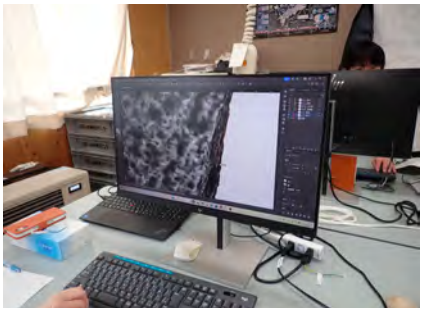

実測


石臼の拓本


古銭の拓本

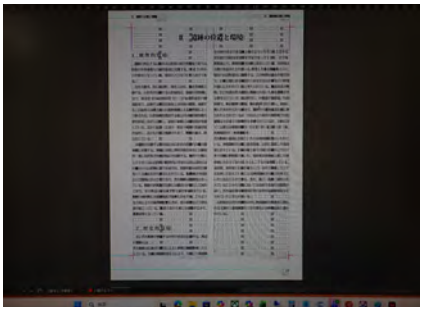

３Ｄ作成のための写真撮影


遺物トレースの下図作成


トレース


遺構図の編集

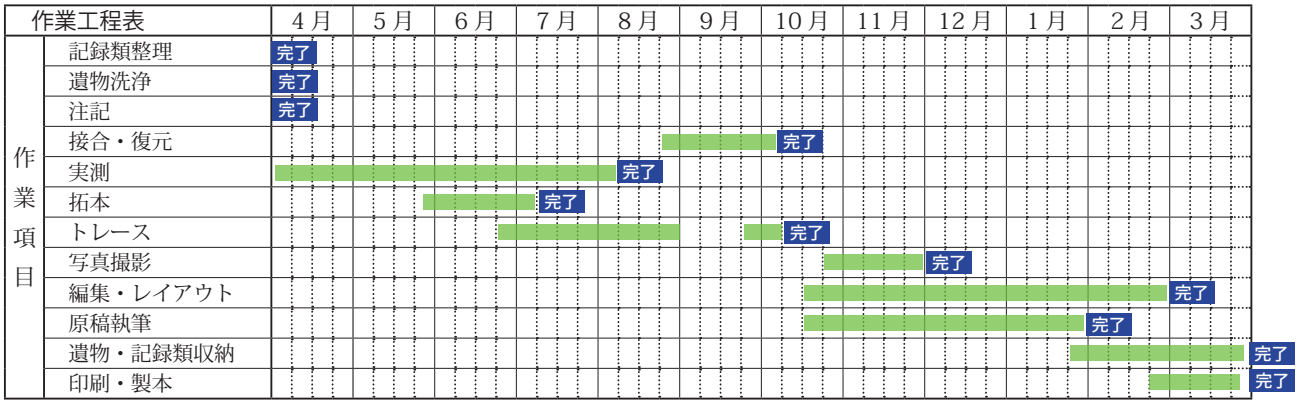

写真撮影


原稿執筆

中洗２遺跡

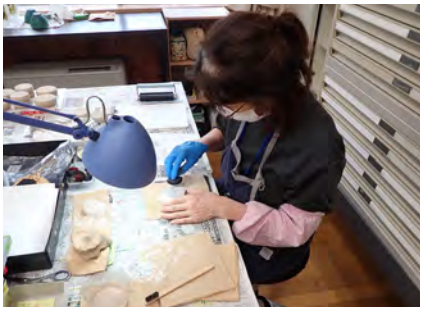
遺跡番号　382-198
所在地　山形県東置賜郡川西町大字時田字中洗地内
調査委託者　山形県置賜総合支庁建設部道路計画課
起因事業　道路改築事業　国道 287 号米沢川西バイパス
受託期間　令和７年４月１日～令和８年３月 31 日

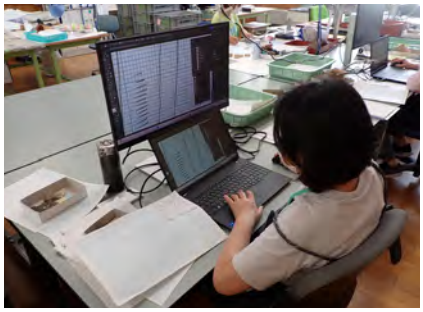
現地調査　令和６年５月 20 日～９月 13 日
調査担当者　齋藤健・水戸部秀樹
遺跡種別　集落跡
時代　古墳時代・平安時代

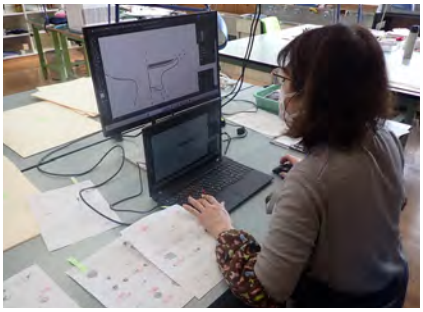


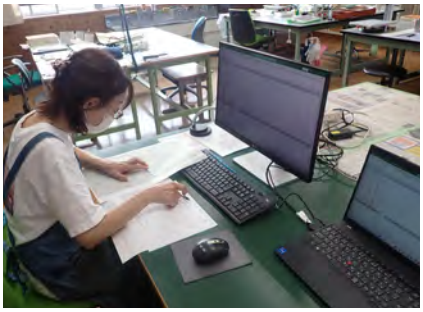

復元

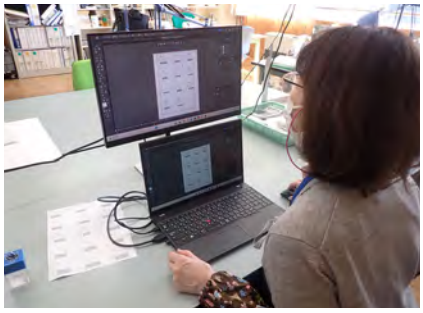

実測


拓本


トレース


トレース


遺物観察表作成

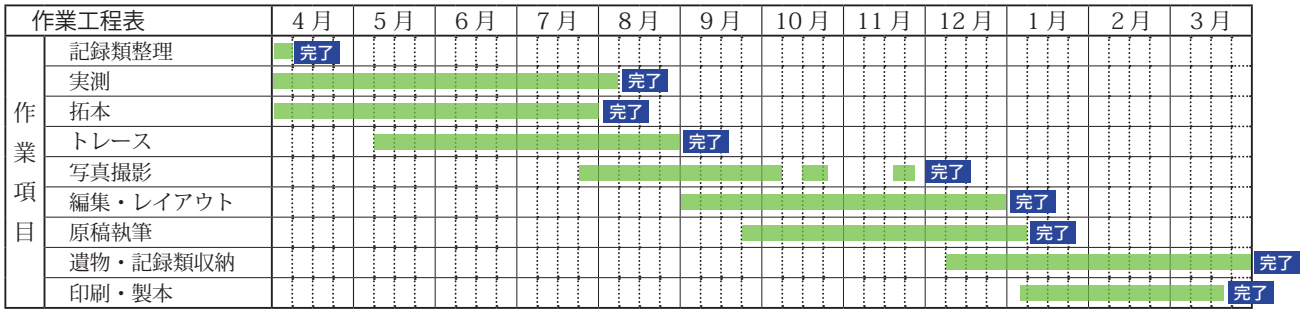

図版編集

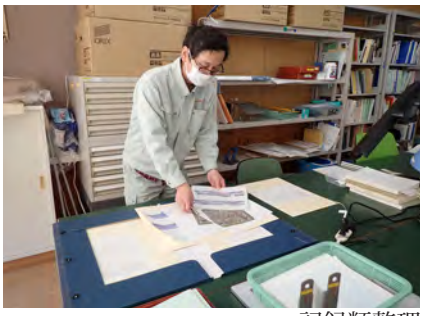

遺物収納

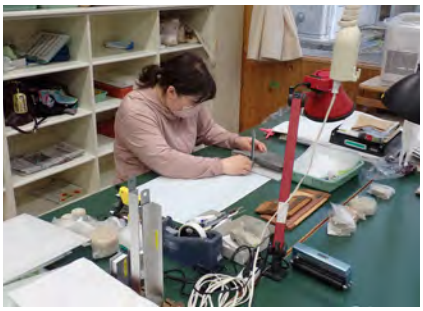

印刷・製本

新庄城二の丸跡

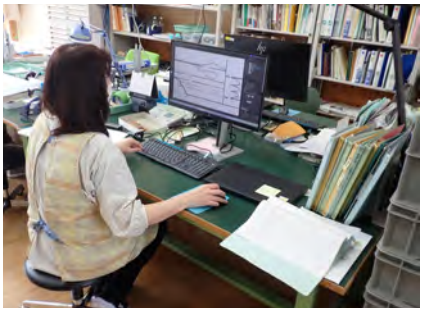
遺跡番号　205-129
所在地　山形県新庄市堀端町４番地
調査委託者　新庄市
起因事業　新庄市公立保育所整備
受託期間　令和７年４月１日～令和８年３月31日
現地調査　令和５年５月15日～11月14日
調査担当者　菅原哲文
遺跡種別　城館跡
時代　近世



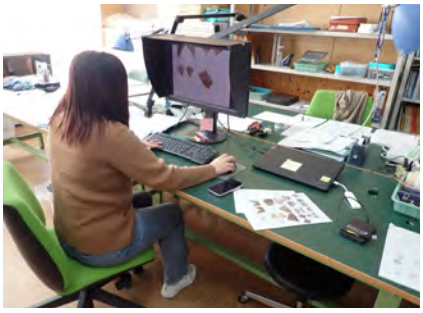

記録類整理


実測


拓本


トレース


写真撮影


写真図版編集


原稿執筆


遺物収納


印刷・製本

2．普及啓発業務

（1）受託事業

①出前授業

	実施日	学校（団体）名	人数
1	5 月 12 日	大江町立本郷東小学校	21
2	5 月 27 日	寒河江市立寒河江中部小学校	100
3	5 月 29 日	山形市立蔵王第一小学校	45
4	6 月 3 日	酒田市立広野小学校	11
5	6 月 5 日	山形市立大郷小学校	30
6	6 月 6 日	最上町立最上中学校	62
7	6 月 11 日	東根市立東郷小学校	17
8	6 月 13 日	酒田市立松山小学校	7
9	6 月 16 日	東根市立長瀞小学校	8
10	6 月 17 日	酒田市立松陵小学校	42
11	6 月 18 日	村山市立楯岡小学校	86
12	6 月 24 日	米沢市立万世小学校	41
13	6 月 25 日	酒田市立松原小学校	76
14	6 月 27 日	小国町立小国小学校	39
15	7 月 3 日	鮭川村立鮭川小学校	29
16	7 月 8 日	山形市立第十小学校	72
17	7 月 15 日	酒田市立浜中小学校	7
18	7 月 17 日	三川町立東郷小学校	21
19	7 月 18 日	大石田町立大石田小学校	19
20	7 月 29 日	山形市立楯山小学校	22
21	8 月 27 日	飯豊町立手ノ子小学校	3
22	8 月 28 日	鶴岡市立黄金小学校	8
22	9 月 4 日	尾花沢市立玉野小学校	13

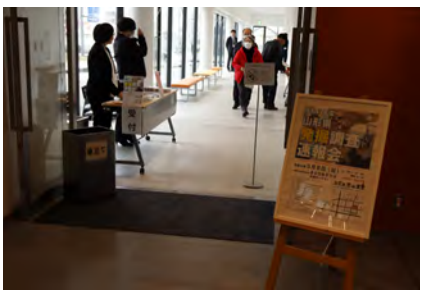
（7 年度実績　23 ヶ所開催 779 名）





②　発掘調査速報会

	実施日	会場	人数
1	3 月 8 日	東根市公益文化施設　まなびあテラス	152





③　遺跡・史跡パンフレット作成

やまがたの遺跡・史跡めぐり　Vol.5（A3 版 2 つ折り　両面印刷）　5,000 部

④　市町村巡回展示会

	実施日	会場	人数
1	8 月 1 日～ 8 月 31 日	舟形町歴史民俗資料館	174
2	9 月 10 日～ 10 月 30 日	横川ダム資料館「きてくろ館」	200
3	12 月 2 日～ 1 月 20 日	中山町立歴史民俗資料館	73

（7 年度実績　447 名）



舟形町歴史民俗資料館
8 月 14 日ギャラリートーク



横川ダム資料館「きてくろ館」
9 月 27 日ギャラリートーク



中山町立歴史民俗資料館
12 月 20 日ギャラリートーク

⑤　体験学習会

	実施日	事業名	開催場所	人数
1	7 月 30 日 8 月 1 日	高校生のための考古学・歴史学ゼミナール	東原遺跡	8
2	9 月 13 日	遺跡発掘調査体験	東原遺跡	17
3	9 月 30 日	縄文・弥生時代を知ろう	山形県立ゆきわり養護学校	11
4	11 月 15 日	考古学お仕事体験	山形県埋蔵文化財センター	53
5	12 月 23 日	学童保育の冬休み行事	寒河江市立白岩小学校	37
6	1 月 29 日	特色ある学校経営事業	東根市立長瀞小学校	56

（7 年度実績　182 名）

歴史学・考古学ゼミナール



遺跡発掘調査体験



考古学お仕事体験









⑥遺跡体感ツーリズム

	実施日	事業名	開催地	人数
1	10 月 18 日	遺跡体感ツーリズム in 下小松古墳群	下小松古墳群（川西町）	14





⑦　SNS 情報発信

X により山形県埋蔵文化財センターの普及啓発活動やイベント等の案内を発信　　フォロワー数　1,588 件

⑧　出土品貸出等

ア．出土品貸出

No.	貸出先	借用目的	貸出期間	資料名	数量
1	東根市教育委員会	東の杜（歴史資料館）展示のため	4 月 1 日～ 8 年 3 月 31 日	小田島城跡出土品	7
2	寒河江市教育委員会	史跡慈恩寺旧境内ガイダンス交流拠点施設「慈恩寺テラス」展示のため	4 月 1 日～ 8 年 3 月 31 日	上の寺遺跡出土品	11
3	舟形町教育委員会	舟形町歴史民俗資料館及び縄文の女神まつり展示のため	4 月 1 日～ 8 年 3 月 31 日	西ノ前遺跡出土品	64
4	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	常設展示のため	4 月 1 日～ 8 年 3 月 31 日	荒川 2 遺跡ほか 5 遺跡出土品	54
5	山形県埋蔵文化財センター	常設展示（出土品活用）	4 月 1 日～ 8 年 3 月 31 日	熊ノ前遺跡ほか 22 遺跡出土品	211
6	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	「赤ちゃん手形をつくろう」イベント展示のため	5 月 2 日～ 5 月 7 日	西海渕遺跡出土品	1
7	山形県埋蔵文化財センター	出前授業での活用のため	5 月 2 日～ 9 月 30 日	宮の前遺跡ほか 5 遺跡出土品	46
8	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	令和 7 年度特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅱ」資料作成のため	5 月 15 日～ 6 月 17 日	吹浦遺跡ほか 14 遺跡写真アルバム	33
9	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	令和 7 年度特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅱ」展示のため	5 月 16 日～ 9 月 19 日	上高田遺跡ほか 16 遺跡出土品	633
10	東北歴史博物館	特別展「世界遺産 縄文」展示のため	6 月 1 日～ 8 年 3 月 31 日	西ノ前遺跡出土品	1
11	上山市立南小学校	6 年生社会科学習のため	6 月 23 日～ 7 月 7 日	物見台遺跡ほか 3 遺跡出土品	5
12	舟形町教育委員会	「縄文の女神まつり 2025」展示のため	7 月 30 日～ 8 月 8 日	中川原 C 遺跡ほか 16 遺跡出土品	67
13	寒河江市教育委員会	寒河江市埋蔵文化財フェア『西村山地域の城と館』展示のため	8 月 25 日～ 9 月 9 日	出土品	191
14	山形県埋蔵文化財センター	企画展示（出土品活用）	9 月 16 日～ 12 月 19 日	生石 2 遺跡ほか	282
15	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	第 25 回古代瓦研究会シンポジウム展示のため	8 年 1 月 26 日～ 2 月 6 日	泉森窯跡、小松原窯跡出土品	8

（7 年度実績　　1,614 点）

イ．資料掲載許可

No.	許可先	借用目的	資料名	数量
1	長井市	デジタルアーカイブに掲載のため	空沢遺跡ほか 9 遺跡の遺構・遺物写真及び実測図	35
2	川西町教育委員会	広報誌『町報かわにし』の特集記事「わが町のたからもの」に掲載のため	太夫小屋遺跡の遺物集合写真	1
3	東北放送株式会社	「世界遺産 縄文」展図録・解説パネルに掲載のため	西ノ前遺跡の土偶出土写真	1
4	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅱ」の展示パネルに掲載のため	上高田遺跡ほか 16 遺跡の遺構・遺物写真	764
5	寒河江市教育委員会	寒河江市埋蔵文化財フェア『西村山地域の城と館』のポスター・チラシ・展示パネルに掲載のため	睦合館跡、木ノ沢館跡の遺構・遺物写真	40
6	東平田郷土史研究会	東平田地区文化祭の展示パネルに掲載のため	生石 2 遺跡、生石 4 遺跡の遺構・遺物写真	40
7	米沢市教育委員会	『発掘された日本列島 2026』の図録に掲載のため	荒川 2 遺跡の遺物写真	1
8	滑川市立博物館	特別展「越中土肥氏が駆け抜けた戦国」の展示パネル・図録に掲載のため	亀ヶ崎城跡の遺物写真	1

（7 年度実績　　883 点）

ウ．資料調査

No.	来所者	期日	対象遺跡	数量
1	東北古代土器研究会 会員	6 月 22 日	北目長田遺跡ほか 18 遺跡	153
2	奈良女子大学 教授	6 月 23 日	下野遺跡ほか 10 遺跡	81
3	京都大学 大学院生	6 月 24 日～ 27 日	宮の前遺跡ほか 6 遺跡	209
4	早稲田大学先史考古学研究所 職員	6 月 30 日	泥部遺跡・川口遺跡・宮の前遺跡・釜淵 C 遺跡	128
5	東北芸術工科大学 学生	7 月 8 日	下叶水遺跡・宮の前遺跡・落合遺跡・原の内 A 遺跡・岡ノ台遺跡・釜淵 C 遺跡	64
6	山形県立博物館 学芸員	9 月 5 日	太郎水野遺跡・高瀬山遺跡・清水西遺跡・富山遺跡・お仲間林遺跡・水林下遺跡	416
7	東北芸術工科大学 大学院生	10 月 2 日	砂子田遺跡・北柳 1 遺跡	13
8	東北芸術工科大学 学生	11 月 5 日	中川原 C 遺跡	9
9	東北中世考古学会 会員	11 月 8 日	山形城三の丸跡・城南一丁目遺跡	766
10	新潟県観光文化スポーツ部文化課 職員	11 月 19 日	東田遺跡ほか 7 遺跡	15
11	東北芸術工科大学 准教授	12 月 3 日	富沢 1 遺跡ほか 12 遺跡	43
12	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 学芸員	8 年 3 月 4 日	馳上遺跡	55

（7 年度実績　　1,952 点）

（2）その他

①　調査説明会・調査成果一般公開

No.	市町村	遺跡名	公開期間	遺跡種別	見学者数
1	朝日町	馬神昭和新田遺跡	7月21日	集落跡	51
2	東根市	東原遺跡	10月11日	集落跡	47
3	山形市	飯田館跡	11月6日・7日	城館跡	21

（7年度実績　　119名）

②　来所者

No.	来所者	期日	人数	内容
1	うきたむ風土記の丘考古資料館　職員	4月15日	1	施設利用（大型複写機）
2	個人（奈良市）	5月1日	1	施設見学
3	個人（新庄市）	5月13日	2	施設見学
4	米沢市教育委員会　職員	5月28日	1	施設利用（測量データ解析）
5	朝日町立大谷小学校　教員・児童	6月12日	10	遺跡見学（馬神昭和新田遺跡）
6	個人（小国町）	6月19日	1	施設見学
7	山形県立山形聾学校　教員・児童	6月20日	3	施設利用（校外学習）
8	個人（山形市）	6月26日	3	施設見学
9	上山市立南中学校　生徒	7月1日～2日	4	施設利用（キャリアスタートウィーク）
10	個人（山辺町）	7月16日	1	図書利用
11	朝日町立朝日中学校　教員・生徒	7月17日	44	遺跡見学（馬神昭和新田遺跡）
12	個人（静岡県清水市）	7月31日	2	施設見学
13	中山地区公民館の夏休み講座参加者	8月4日	9	施設見学と利用（勾玉づくり）
14	個人（横浜市）	8月5日	1	施設見学
15	個人（山形市）	8月13日	3	施設見学
16	個人（東京都八王子市）	8月22日	5	施設見学
17	東北芸術工科大学　学生	8月22日 ・9月2日	1	図書利用
18	東北芸術工科大学　学生	9月16日～19日	4	インターンシップ（東原遺跡）
19	個人（福井市）	9月22日	1	施設見学
20	村山市白鳥館跡発掘作業員	9月30日	19	施設見学
21	個人（東根市）	10月1日	1	施設見学
22	個人（長野県中野市）	10月6日	1	施設見学
23	東北芸術工科大学　学生	10月9日	1	図書利用

No.	来所者	期日	人数	内容
24	個人（東京都町田市）	10月10日	1	施設見学
25	山形考古学会　会員	10月12日	10	遺跡見学（東原遺跡）
26	個人（三重県鈴鹿市）	10月17日	1	施設見学
27	個人（酒田市）	10月28日	1	施設見学
28	個人（酒田市）	10月30日	2	施設見学
29	山形県退職公務員連盟山辺地区　会員	10月31日	7	施設見学
30	個人（愛知県岡崎市）	11月10日	2	施設見学
31	個人（新庄市）	11月11日	2	施設見学
32	個人（大阪市）	11月12日	1	施設見学
33	個人（東根市）	11月25日	2	施設見学
34	個人（鮭川村）	12月3日	4	施設見学
35	センター評議員	12月5日	1	図書利用
36	大江町教育委員会　職員	12月11日	1	施設利用（遺物鑑定）
37	南陽市教育委員会　職員	12月15日	3	施設利用（写真スタジオ）
38	東北芸術工科大学　学生	12月24日	2	図書利用
39	東北芸術工科大学　学生	1月8日	1	図書利用
40	個人（山辺町）	1月13日	1	図書利用
41	東北地域づくり協議会　職員	1月28日	3	施設見学
42	個人（山形市ほか）	2月27日	7	第2回ふるさと考古学講座の一般聴講
43	大江町教育委員会　職員	3月4日	1	施設利用（遺物鑑定）
44	個人（福島市ほか）	3月11日	14	第3回ふるさと考古学講座の一般聴講
45	個人（寒河江市）	3月13日	1	奈良文化財研究所専門研修受講者報告の一般聴講
46	個人（宮城県塩釜市）	3月18日	1	施設見学

（7年度実績　　188名）

③　職員派遣等

No.	依頼者名	派遣場所	派遣職員	期日	内容
1	舟形町教育委員会教育長	舟形町中央公民館	齊藤主税	5月9日 3月23日	舟形町文化財保護委員会への出席
2	アラスカ・フランス考古学調査団長	パンスヴァン先史遺跡	大場正善	6月1日～ 7日	石器製作ワークショップへの参加
3	北海道大学総合博物館長	酒田市飛島	植松暁彦	5月14日～ 18日	「東日本沿岸部における古津波堆積層の考古地理学的調査」に関する技術指導

No.	依頼者名	派遣場所	派遣職員	期日	内容
4	佐世保市教育委員会教育長	福井洞窟ミュージアム	大場正善	5月31日 6月1日	石器作りの指導助言
5	古代城柵官衙遺跡検討会代表世話人	東北歴史博物館	水戸部秀樹	6月6日	世話人会への出席
6	山形県県民文化芸術振興課長	山形県庁	髙桑　登	6月20日	埋蔵文化財調整会議への出席
7	舟形町教育委員会教育長	寒河江慈恩寺、東北芸術工科大学	齊藤主税	6月27日	舟形町文化財保護委員会への出席
8	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	大場正善	7月5日 11月3日	石器作りの技術指導
9	山形美術館長	山形美術館	水戸部秀樹	7月27日	企画展「古代エジプト美術館展」記念講演会での講演
10	大江町教育委員会教育長	大江町中央公民館	髙桑　登	7月28日 1月15日 2月24日	史跡左沢楯山城跡保存整備検討委員会への出席
11	国立文化財機構奈良文化財研究所長	文化庁京都庁舎	水戸部秀樹	7月28日 12月1日 3月2日	文化庁委託事業に係る第1回実務者委員会への出席
12	国立歴史民俗博物館長	三重県総合体育館	植松暁彦	9月3日 ・4日	人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト研究会への出席
13	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター理事長	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター	天本昌希	9月3日 ～5日	現場及び整理作業に関するデジタル技術研修での指導
14	酒田市文化財保護審議会長	酒田市総合文化センター	植松暁彦	9月5日 2月19日	酒田市文化財保護審議会への出席
15	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	大場正善	9月28日	第27期考古学セミナーでの講演
16	舟形町教育委員会教育長	舟形町歴史民俗資料館	齊藤主税	9月10日 17日・24日	舟形町文化財保護委員会への出席
17	国立文化財機構奈良文化財研究所長	国立文化財機構奈良文化財研究所	水戸部秀樹	9月30日 10月1日	文化財保護行政における三次元計測利用での講師
18	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課長	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	髙桑弘美	10月30日 2月24日	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館運営協議会への出席
19	長野県考古学会長	佐久市民創錬センター	大場正善	11月15日 ・16日	シンポジウムでの講演・実演
20	山形県知事	オンライン出席	髙桑弘美	11月26日	山形県文化財保護審議会への出席
21	鹿児島大学埋蔵文化財センター長	鹿児島大学埋蔵文化財センターほか	大場正善	12月14日 ～20日	後期旧石器出土品の資料調査 （製作技術観察と考察）
22	国立文化財機構奈良文化財研究所長	東北歴史博物館	水戸部秀樹	1月31日 2月1日	古代瓦研究会シンポジウムでの講演
23	仙台市縄文の森広場館長	仙台市縄文の森広場	小林圭一	2月22日	縄文の森講座での講演
24	北海道大学総合博物館長	宮城県松島市・利府町	植松暁彦	3月7日～ 10日	科学研究費助成事業に関する技術指導
25	喜多方市教育委員会教育長	喜多方市保健センター	小林圭一	3月27日	藤権現遺跡調査指導部会への出席

④　出版物

ア．一般公開資料

書　名	発行年月日
馬神昭和新田遺跡発掘調査説明資料	2025 年 7 月 21 日
東原遺跡発掘調査説明資料	2025 年 10 月 11 日
飯田館跡発掘調査説明資料	2025 年 11 月 6・7 日

イ．調査報告書

シリーズ№	書　名	発行年月日
251	中野目Ⅱ遺跡発掘調査報告書	2026 年 3 月 31 日
252	原の内 A 遺跡第 4 次発掘調査報告書	2026 年 3 月 31 日
253	鶴子中原遺跡発掘調査報告書	2026 年 3 月 31 日
254	西田 1 ・ 2 遺跡発掘調査報告書	2026 年 3 月 31 日
255	中洗 2 遺跡発掘調査報告書	2026 年 3 月 31 日
256	新庄城二の丸跡発掘調査報告書	2026 年 3 月 31 日

ウ．その他

資料名	発行年月日
令和 6 年度年報	2025 年 5 月 7 日
研究紀要　第 18 号	2026 年 3 月 31 日

⑤　ホームページ

主な項目と内容は以下の通りです。

- センター概要　センターの紹介や、情報公開制度に基づいた、センター情報の提供
- 発掘調査遺跡一覧　発掘調査遺跡や整理作業中の遺跡の紹介
- 発掘調査速報　調査期間中、遺跡ごとの調査状況を毎週更新して紹介
- イベント情報　埋蔵文化財センター考古学講座、調査説明会、各種イベント情報の提供
- センター刊行物案内　調査報告書、発掘調査説明会資料、研究紀要などの刊行物の紹介
- 埋文やまがた　web 版広報誌「埋文やまがた」の紹介、およびバックナンバーの閲覧とダウンロード
- 発掘調査遺跡地図　埋蔵文化財センターがこれまで発掘調査し報告書を刊行した遺跡の紹介

（3）職員研修

新規採用職員研修

① 一般職員

期　　日　第1期　令和7年4月1日～3日
　　第2期　令和7年9月9日
対 象 者　調査研究員　三浦一樹、結城　駿
講　　師　第1期　職員
　　第2期　「メンタルタフネス」 二本松会かみのやま病院　臨床心理士
　　主任　津久井仁美
　　そ の 他　職員

② 任期付職員

期　　日　令和8年2月2日
対 象 者　事務員　濱田くみ子
講　　師　職員

中堅職員研修

① 能力開発研修

ア　期　　日　令和7年4月2日
　　内　　容　OJTのあり方について
　　対 象 者　新規採用職員を除く一般職員及び企画主任
　　講　　師　職員
イ　期　　日　令和8年3月4日
　　内　　容　ワンペーパー資料作成
　　対 象 者　全職員
　　講　　師　㈱マネジメント・サポート　渡邉奈月

専門研修

① 基礎研修

期　　日　令和7年4月4日・10日・15日、5月16日
対 象 者　調査研究員　三浦一樹、結城　駿

② 能力開発研修

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所の専門研修受講及び伝達

ア　期　　日　令和7年9月29日～10月10日
　　課　　程　文化財三次元計測課程、土器・陶磁器調査課程
　　受講職員　調査研究員　三浦一樹
イ　期　　日　令和7年11月17日～12月12日
　　課　　程　文化財写真課程、報告書編集基礎課程、報告書デジタル作成課程
　　受講職員　調査研究員　結城　駿
ウ　伝達研修　令和8年3月13日

ふるさと考古学講座

ア　期　　日　　令和８年１月 22 日

内　　容　「フランスの石器研究最前線－パンスヴァン石器製作ワークショップ 2025 に参加して－」

講　　師　専門調査研究員　大場正善

イ　期　　日　　令和８年２月 27 日

内　　容　「『山形の宝マップ』のデータを利用した遺跡位置図のつくり方」

講　　師　調整専門員　髙桑 登

ウ　期　　日　　令和８年３月 11 日

内　　容　「前期旧石器研究の回顧と展望－自身の研究を振り返りながら－」

（４）情報処理

収蔵図書データベース　　新収蔵図書　3,427 冊のデータ登録実施（File Maker Pro 使用）

（５）その他

全国埋蔵文化財法人連絡協議会事業

①　総　会

期　　日　　令和７年６月 12 日～ 13 日

会　　場　　愛知県名古屋市（TPK ガーデンシティ PREMIUM 名古屋駅新幹線口）

派遣職員　　専務理事　菅原靖男　調査研究専門員　齋藤　健

②　ブロック会議

期　　日　　令和７年 10 月 23 日～ 24 日

会　　場　　福島県郡山市（郡山市労働福祉会館）

派遣職員　　専門調査研究員　大場正善、主任主査　氏家信行

③　研修会

期　　日　　令和７年 11 月６日～７日

会　　場　　高知県高知市（高知会館）

派遣職員　　専務理事　菅原靖男



ISSN 1341 － 397X

年　報

令和 7 年度

2026 年 5 月 7 日　　発行

発　行　　公益財団法人　山形県埋蔵文化財センター
〒 999-3246
山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地
℡　023-672-5301（代）



Yamagata Archaeology Center

当センターの記章としているこの図柄は、

Yamagata

Archaeology

Center

の３つの頭文字をあしらったものです。特にＹは、国宝「縄文の女神」をイメージしています。